

# この夏、根室でアイヌの歴史と文化を学ぶ

企画展

北海道立アイヌ民族文化研究センター  
根室市教育委員会

## 山田秀三の地名研究から

2013年夏 根室

### 根室市図書館 (2階集会室)

(根室市弥生町2丁目5) 観覧無料

6月29日(土) ~ 8月4日(日)

#### ◆ 展示解説講座

6月29日(土) 14:00~15:30

根室市図書館(3階視聴覚室)

講師:北海道立アイヌ民族文化研究センター職員

#### ◆ 講演会「根室・千島のアイヌ文化

~研究の最前線から~」

7月6日(土) 14:00~17:30

根室市図書館(3階視聴覚室)

講師とテーマ(仮題);

佐々木 利和氏(北海道大学教授)

「地図に描かれた19世紀初めの根室と千島  
-今井八九郎の測量図を読む-」

川上 淳氏(札幌大学教授)

「千島の歴史はどこまで  
明らかにされているか  
-千島アイヌを中心に-」

大矢 京右氏(市立函館博物館学芸員)

「千島アイヌの文化をさぐる  
-先人の研究を手がかりに-」

#### ◆ 関連講演会

「加賀家文書のアイヌ語を読む」

7月27日(土) 13:30~15:30

別海町・加賀家文書館(別海町別海宮舞町)

講師 佐藤 知己氏(北海道大学教授)

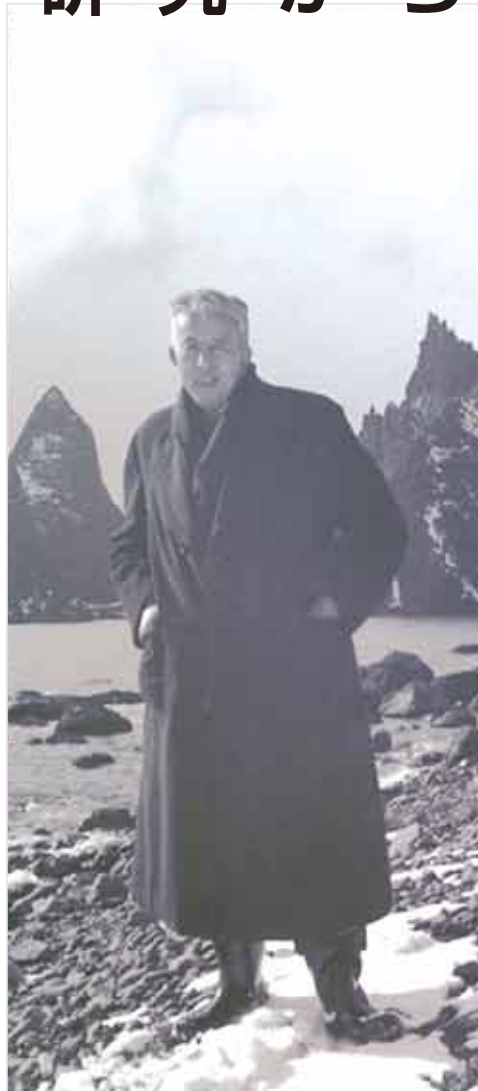
(この講演会は、北海道立アイヌ民族文化研究センターと別海町教育委員会の共催です。)



- 根室市図書館  
根室市弥生町2丁目5  
(JR根室駅から徒歩約10分)  
開館時間 10:00-18:00  
(日曜日は17:00まで)  
休館 7月1日(月)、2日(火)、  
8日(月)、15日(月・祝)、  
16日(火)、22日(月)、  
29日(月)、31日(水)

(詳しくは、根室市図書館ホームページ等でご確認ください。)

この展示は、**ねむろわんぱくチャレンジ**対象事業です。



# アイヌ語地名を歩く

地名は、地域の歴史と文化をさまざまなかたちで反映しています。地域に暮らす人々にとってはもっとも身近な存在の一つであり、訪れる人々にとっては地域を知り、親しむ手引きにもなります。

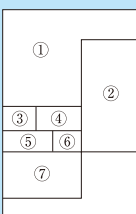
北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。これらのアイヌ語地名について知ることは、アイヌの歴史と文化を知るとぐちとなります。

当研究センターが所蔵する「山田秀三文庫」は、アイヌ語地名研究の第一人者である山田秀三氏(1899~1992年)が遺した、アイヌ語地名に関する他に類を見ない貴重な資料であり、各地の地名に関する資料が豊富に含まれています。

この展示では、山田秀三文庫の資料から、根室市とその近隣の地域を中心に、山田氏が用いた地図、現地で撮影した写真、それらをまとめた記録などを紹介しながら、山田氏の地名調査のあとをたどっていきます。

あわせて、根室のアイヌの歴史と文化に深く関わる貴重な資料である、郷土史家・伊藤初太郎氏の旧蔵資料(根室市歴史と自然の資料館所蔵)も紹介します。

多くの皆様のご来場を、心よりお待ちしております。



このチラシに掲載している写真は、全て展示会場で紹介する予定です。  
①地理調査所(現・国土地理院)の5万分の1地形図「納沙布」「根室北部」「根室南部」に、山田秀三氏が地名調査の記録などを書き込んだもの(1961年頃。写真は、3点の地図をデジタルデータ上で接合してあります) ②山田秀三氏。室蘭・チャラツナイの海岸にて(1960年2月) ③根室の市街(1961年) ④別海町・野付半島の「チベカリウシ」付近。岬へ向かう車窓から撮影(1987年) ⑤根室半島のヒキウス付近(1961年) ⑥伊藤初太郎氏によるアイヌ語筆録ノート(部分) ⑦山田秀三氏による、根室市春国倍(しゅんくにたい)付近を描いた地図(1961年)  
⑧は根室市歴史と自然の資料館所蔵伊藤初太郎氏資料。その他は北海道立アイヌ民族文化研究センター所蔵山田秀三文庫。)